



録画配信の  
2次元コード

関根 弘樹  
公明党

## 単身高齢者、身寄りのない高齢者の問題について考える

**Q** 身寄りのない高齢者に関連し、今後本市ではどのような問題が増えていくとお考えか

**A** **福祉部長** 身元保証問題や財産を含む金銭管理、各種契約行為ができない方の増加が予想される。さらに、病院等で亡くなったときの引き取りや火葬、埋葬、遺品整理などの死後事務等の問題が増えていくと考えている。

**Q** 身寄りのない高齢者の問題で、特に重視することは

**A** **福祉部長** 身元保証人がいないことで、入院や入所の手続きができない問題、また死後事務が円滑に進められるように事前に準備しておくことが重要となってくる。

**Q** それらの問題にどのように取り組むか

**A** **福祉部長** 国の社会福祉法の改正も注視しながら、本市としては社会福祉協議会と協議してまいりたい。社会福祉協議会は、判断能力が不十分で、家族や親族等に援助が求められない方などに対して、福祉サービスの利用や手続への援助、日常的な金銭管理、書類等預かりサービスを行う「安心サポートネット事業」を実施しており、身寄りのない高齢者問題の解決につながるサービスの提供についても、この安心サポートネットを拡充することで対応できるよう検討していきたい。



その他のテーマ▶ 狭山市の高齢者見守り事業について



録画配信の  
2次元コード

船川 秀子  
公明党

## はじめてのえほんプレゼント／給食費／認定こども園について

### ◆ 施政方針

**Q** はじめてのえほんプレゼント事業の内容は

**A** **こども支援部長** お子さんの誕生を祝い初めての絵本をプレゼントするもので、こども支援課で選書した3冊の中から1冊を選び、子育て支援施設の案内や読み聞かせ方法等のチラシとともにオリジナルトートバッグに入れてギフトセットとしてお渡しするものである。

**Q** 小中学校の給食費の負担軽減の効果は

**A** **学校教育部長** 児童生徒1人当たり年額57,200円の負担軽減が図られ、全ての子どもたちが経済状況にかかわらず安心して学校給食を受けられ、質、量に配慮した栄養バランスの取れた給食を継続的に提供でき、食育の推進や子どもたちの健康や成長の促進につながるものと考えている。

### ◆ 認定こども園

**Q** 幼稚園を認定こども園に移行することで、市外在住の児童を含めて預かりやすく、教育、保育の質の確保も期待できるが見解は

**A** **こども支援部長** 保育提供体制の拡充となり、より多くの保育ニーズに対応でき、待機児童の解消が図られる。幼児教育のノウハウが保育にも活かされ、児童の教育、保育の質のさらなる向上が期待できる。



はじめてのえほん

その他のテーマ▶ 0～2歳児の保育提供体制